

# 経営比較分析表

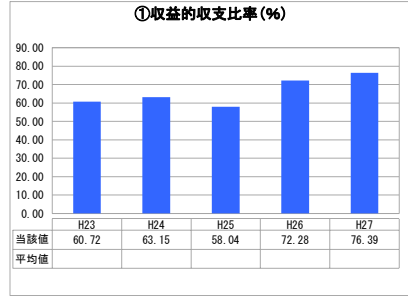
佐賀県 雄野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	23.67	100.00	2,700

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
27,308	126.41	216.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,423	2.79	2,302.15

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



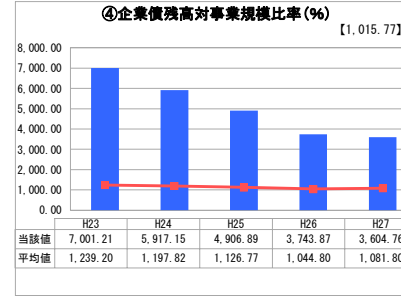
「単年度の収支」



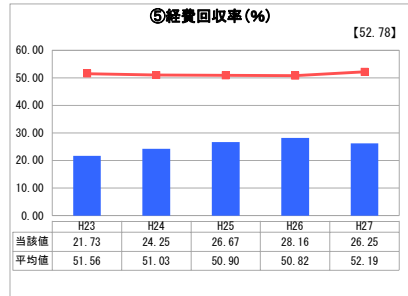
「累積欠損」



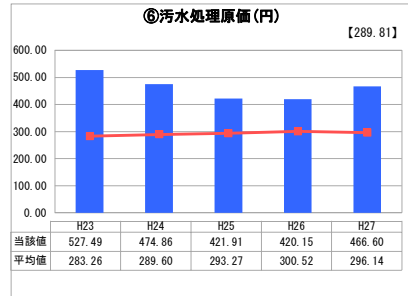
「支払能力」



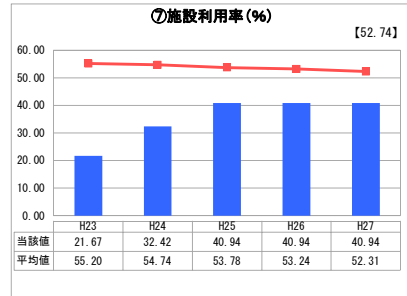
「債務残高」



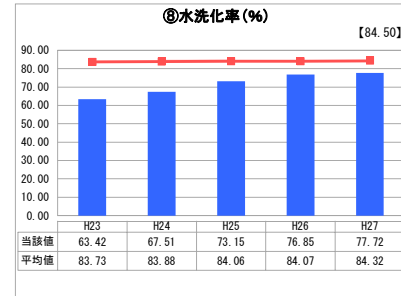
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

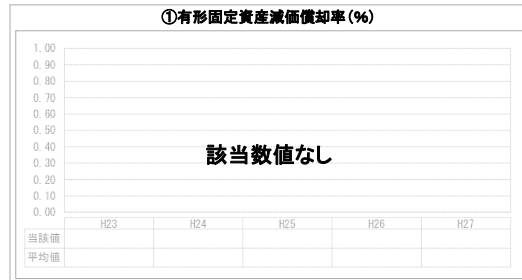


「施設の効率性」

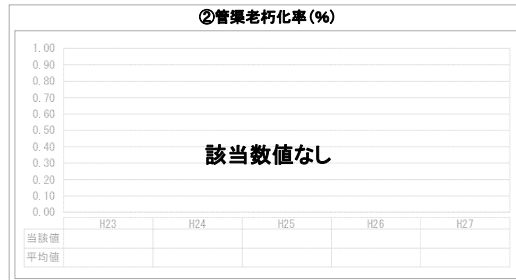


「使用料対象の捕捉」

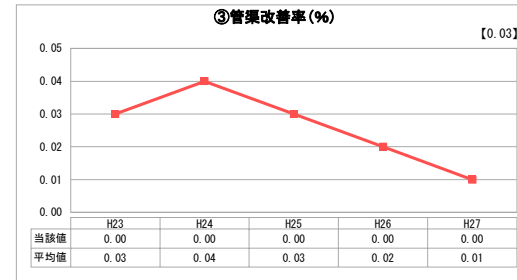
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
指標は、年々向上しているが、平成27年度は76.39%となっており、経常収支は赤字である。経常収益については、使用料以外の収入に依存しているため、料金の見直しも含め経営改善を図っていく。

④企業債残高対事業規模比率  
料金収入に対する企業債残高は、類似団体より高い値で推移しており、料金の見直しと加入者の増加による収入の増加が必要である。

⑤経費回収率  
使用料で回収すべき経費についても、類似団体の平均より著しく低くなっているため、料金の見直し業務の効率化、料金の見直し等による適正な使用料収入の確保が必要とされる。

⑥汚水処理原価  
汚水処理に要した費用については、類似団体より高く推移しており、施設の効率を高めることが必要とされる。

⑦施設利用率  
指標は平均より低く推移している。4箇所ある処理場の統合を含め、施設の効率を高めるための検討が必要である。

⑧水洗化率  
指標は平均値を下回っている。今後も普及拡大に向けた広報等を行う必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成5年より整備を開始しており、管渠等の老朽化はまだ発生していない。

## 全体総括

現在、農業集落排水と公共下水道の料金体系が異なるため、料金体系を統一する予定である。汚水処理施設の効率化の為、処理場の統合等も検討している。今後の適正な使用料収入の確保、汚水処理費の削減等により、経営の改善を見込む。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。